

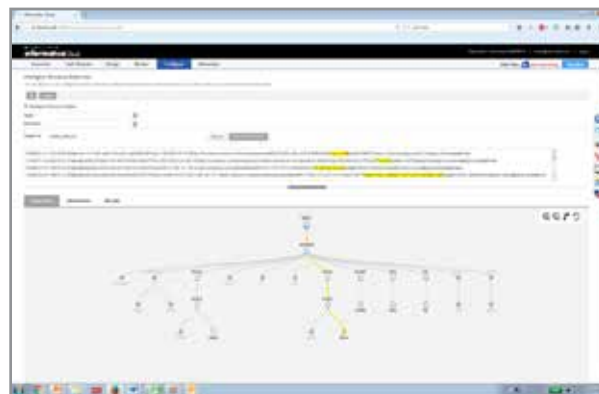
Informatica Intelligent Structure Discovery

IoTとマシンデータを理解する能力を高め、既存のエンタープライズデータと共に活用することで業務上の価値を創出

利点

- 作業を自動化する高度なツールによって、マシンデータ活用の俊敏性が向上
- 機械学習機能および自動生成されるビジュアルモデルを使用して、マシンデータをより迅速に理解し、準備を整えることが可能
- 自動生成されるパーサーをマシンデータおよび他のログファイルへ手軽に適用し、Informatica Cloudで活用することが可能

モノのインターネットやインターネット、ネットワークング、セキュリティ、その他のアプリケーションやシステムから生成されるマシンデータが急増するのに伴い、企業はより容易にこれらのデータの意味を理解し、他のエンタープライズデータと合わせて業務上の成果を生み出す方法を求めています。しかし、通常はマシンデータの多くは標準化された構造を持たないログファイル形式であるため、その内容を理解して変換したり統合したりすることが難しい場合があります。



機械学習機能によって生成されるシンプルな動的ビジュアルモデルがマシンデータの理解をサポート

マシンデータやログデータは、プロバイダーやソフトウェアのリビジョン、コンフィグレーションパラメーター、その他の条件によって異なるだけでなく、時間の経過と共に変化します。このため、企業にはデータを理解し、可視化を進め、解析のための準備を迅速に実行することをサポートするツールが必要です。

自動化によりマシンデータの迅速な理解と解析を実現

マシンやインターネット、またエンタープライズ環境全体を通じた他のデータソースからの一貫したデータフローを活用することを可能にする、より有効な新しい方法を求める企業が増えています。ほとんどの企業では、特別なノウハウを必要とする複雑なユーザーインターフェイスの旧式のツールを使用して手作業でデータの解析と統合を行っているか、目的特化型のシステムを使用して、他とは連携のない独立した形でマシンデータを解析しています。

その結果、通常はマシンデータの活用が特定のプロジェクトに限定され、プロセス内でも不明確であるだけでなく、データ形式の変化や時間とともに増えるバリエーションへ容易に適応できず時間もかかる状況となっています。このため、多くの企業がこれらのマシンデータを他のエンタープライズデータと自由に組み合わせて容易に活用することができず、自分たちが求める方法でデータを活用することには限界があり、時間もかかると考えています。

ビジュアルモデルで指定したターゲットデータの構造とソースデータとの比較をプレビュー



インフォマティカについて

データが世界のビジネスを動かす今日、インフォマティカはお客様がデータから最大限の価値を引き出すことができるよう全力で取り組んでいます。企業には、クラウド、ビッグデータ、リアルタイム、ストリーミングなど様々なデータに対応できるビジネスソリューションが求められています。インフォマティカは、世界No.1のデータ統合ソリューションプロバイダーとして、クラウド、オンプレミス、ハイブリッド環境に向けたソリューションを提供しています。世界7,000社以上の企業がインフォマティカのデータソリューションを活用してビジネスを革新しています。

自動化とマシンデータへの理解を進めることで業務上の価値を最大化

Informatica Intelligent Structure Discoveryでは、自動化ツールとビジュアルなツールによってデータをより迅速に活用することが可能になります。もう専門のIT担当者が手作業でIoTや他のマシンデータの解析と活用の準備を整えてくれるのを待つ必要はありません。

機械学習機能を備えた自動化機能とInformatica Cloudの柔軟性および高い能力とを組み合わせることで、これらの新たなデータソースを社内の他のデータと一緒に活用することが可能になるので、標準化されていない豊富なデータのソースを決まったプロジェクト以外にも広く活用できるようになり、より容易にエンタープライズ環境全体でさらに多くの価値を引き出すことができます。まずはセキュリティの異常や不正の検出、またリモートシステムの挙動確認などから始め、徐々により幅広い分析や予測可能な運用環境へと簡単に拡張していくことができます。

自動化によってIoTとマシンデータの価値を最大化

Informatica Cloud Integration Platform as a Service (iPaaS) に組み込まれているIntelligent Structure Discoveryによって、マシンやインターネット上で生成されるログファイルなどのマシンデータをより迅速かつ容易に理解し、他のエンタープライズデータと合わせて分析や運用に活用することが可能になります。ユーザーは、機械学習機能および自動生成されるデータ要素のビジュアルモデルを通じて、サンプルからのファイル構造やログファイル内のデータ、データ要素間の関係などを迅速に理解することができます。システムは、一般的なJSON構造も自動で検出して変換します。

ユーザーは必要な要素を決定し、そのデータと他のエンタープライズシステムからのデータを組み合わせて活用できるように、出力構造を調整することができます。次に、自動生成されるパーサーが、これらのマシンデータを使用するシステムに適した構造へと変換します（例えばリレーショナル）。自動生成されるパーサーはInformatica Cloud Designer内でシームレスに実行することが可能で、大量のマシンデータを継続的に変換することができます。



Intelligent Structure Discoveryで生成されるデータパーサーをInformatica Cloudマッピングで容易に使用できる

マシンデータを短時間で理解する能力を高め、最大限に活用

機械学習機能とビジュアルなツールを使用してマシンデータや社内の他のタイプのログファイルの変換と統合を自動化することにより、チームの俊敏性と効率が向上します。今すぐInformatica CloudでInformatica Intelligent Structure Discoveryをお試しください。また、Intelligent Structure Discoveryが貴社のマシンデータの価値をどのように最大化するかをご案内いたしますので、[こちら](#)までお問い合わせください。


informatica
Put potential to work.™

〒105-6226 東京都港区愛宕2-5-1 愛宕グリーンヒルズMORIタワー26階 電話：03-6403-7600(代表) FAX：03-3433-1021
www.informatica.com/jp linkedin.com/company/informatica twitter.com/InformaticaCorp

© 2016 Informatica LLC. All rights reserved. Informatica® および Put potential to work™ は、米国およびその他の国における Informatica LLC の商標または登録商標です。その他すべての企業名および製品名は、各社が所有する商号または商標です。